

図画工作科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
 第1・2校時 8:35~10:10
 学校名 小学校
 対 象 第3学年2組 21名
 会 場 図画工作室
 授業者 〇〇 〇〇

1 題材名 「カラフルバンドで図工室が大変身！」 A表現 (1) ア (2) ア, B鑑賞 (1) ア
 共通事項 (1) ア, イ

2 題材の目標

(1) 「知識及び技能」に関する目標

- ・自分の感覚や行為を通して、紙の形や色の組み合わせなどの感じが分かる。
- ・紙の組み合わせや、用具の使い方を工夫したりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。

(2) 「思考力・判断力・表現力」に関する目標

- ・材料の紙や活動する図画工作室の感じを基に造形的な活動を思い付きながら、どのように活動するかについて考える。
- ・自分たちの活動の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな造形的な活動などについて、感じ取ったり、考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
- ・形や色、紙を並べた感じ、組み合わせた感じ、つないだりした感じを基に、自分のイメージをもつ。

(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

- ・進んで色画用紙の帯や図画工作室と関わる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

3 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に 学習に取り組む態度
①自分の感覚や行為を通して、紙の形や色の組み合わせなどの感じが分かっている。 ②紙の組み合わせや、用具の使い方を工夫したりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	①並べたり、組み合わせたり、つないだりした紙の形や色、活動する図画工作室の感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的な活動を思い付き、どのように活動するかについて考えている。 ②自分たちの活動の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな造形的な活動などについて、感じ取ったり、考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	①つくりだす喜びを味わい、進んで色画用紙の帯を使い、図画工作室と関わる造形遊びをしたり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

4 指導観

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示) 図画工作、

[第 3 学年及び第 4 学年] 2 内容

A 表現

(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。

(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 造形遊びをする活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること。

B 鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

[共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。

イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

を受けて設定した。

本題材は、細長い色画用紙の帯を使い、それを並べたり、組み合わせたり、つないだりする中で、いろいろな形状になる紙の面白さを感じ取り、図画工作室と様々な色の画用紙の形の組合せを考えながら、活動を工夫してつくる造形遊びである。24 色計 12000 本程の細長い色画用紙の帯とステープラーを用いながら「何ができそうか」、「どのような表現があるか」と試す中で、机や椅子、設置されたロープなど、図画工作室の場所の感じを生かして活動できるようにする。技能と発想力を発揮しながら、自分なりのイメージを広げて、活動を工夫して行うことができるようにしていく。

また、本題材で身に付けた「身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付く力」や、「形や色の感じをイメージしながら活動する力」は、今後の図画工作科の授業においても、他の教科や生活の中でも生かすことができる資質・能力である。身近な材料の使い方を考えたり、身近な場所を楽しくしたりする体験を通して、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度も育成できると考え、本題材を設定した。

(2) 児童観

第 3 学年の児童の多くは、図画工作科の授業に意欲的に取り組み、つくったり描いたりという造形活動にも関心が高く、普段の製作でも自分なりに工夫をするなどして活発に活動している。しかし、自分の表したいことをのびのびと表現する児童がいる一方で、自分の表し方に自信がもてず、自己決定することに迷ってしまう児童がいる。そこで本題材では、材料・用具・場所と十分に関わ

りながら、発想を得て、自分らしくのびのびと活動できるように指導していく。本時で、授業者はファシリテーター役となり、その都度、活動を取り上げて紹介することで児童の発想が広がるようにする。また、活動時の声掛けを活発に行うことで、一人一人の児童の意欲や自信につなげていけるようにする。

(3) 教材観

ア 縦幅 39 cm、横幅 2 cmの色画用紙の帯、計 24 色 12000 本とステープラーを児童数分用意した。紙を止める方法としてステープラーを使用することのみを可能とした。ステープラーは表面に針の跡が棒状に残るものの、瞬時に止めることができ、さらに、針を外して元に戻すこともできるため、納得がいくまでつくりつくりかえることに適した用具である。また、活動場所に変化をつけるため、壁のフックにロープを張っておくことで紙をつないで吊り下げられるようにした。

イ 色画用紙の色は、児童の身の回りのあらゆる物に使われていて、色を基に自分のイメージを膨らませやすい。自分の表したいイメージに合わせて 24 色の色画用紙を自由に選択できるようにした。

ウ 画用紙を切って長さや形を変化させることやステープラー以外での接着を制限することで、表現方法についての工夫や困り感を児童同士で共有することができ、自然と交流が生まれやすくなるようにした。

エ 安全上の観点から針の外し方と外した針の保管方法については、ステープラー、針、外した針を分けて入れることができるトレイ（用具箱）を個人で管理するようにする。

オ 本時の活動場所である図画工作室は児童が「どきどきわくわく」を感じられるよう、材料置き場に色相環に基づいた配列で、横並びに材料を配置しておくことで、児童の創作意欲を引き出していく。また、机や床、ロープや台など活動する場所も児童が選択できるように用意しておく。

カ 材料と用具

(ア) 児童が用意するもの

タブレット端末（第 3 時に使用）

(イ) 授業者が用意するもの

色画用紙の帯 24 色（20mm×390mm…12000 本）、ステープラー（児童数分）、ステープラー替針（児童数分）、ステープラー予備（10 個）、トレイ（児童数分、ステープラーとステープラーの針入れとして）、デジタルカメラ（1 台）、椅子（10 脚）、雑巾かけ（3 台）、作品棚（1 台）、絵画作品乾燥棚（1 台）、大型ディスプレイ、ロープ（6 本）、長机（3 台、材料置きとして）

5 年間指導計画における位置付け

	題材名	学習内容
第 2 学年	じぶん色いっぱい	色水づくりを楽しみ、色水を並べたり、組み合わせたりしてできる形や色の感じを捉えながら、活動を工夫してつくる。

第3学年	カラフルバンドで図工室が大変身！（本題材）	色画用紙の帯を並べたり、組み合わせたり、つないだりしてできる形や色、図画工作室の感じを基に、自分のイメージを広げ、どのように活動するか考え、活動を工夫してつくる。
第4学年	紙コップでいい感じ	紙コップの特徴を生かし、つなげたり、並べたり、組み合わせたりしながら、図画工作室の感じを基に、自分のイメージを広げ、どのように活動するか考え、活動を工夫してつくる。
第5学年	ミラクル!!ミラーワールド	鏡を合わせて現れる不思議な世界を見付けたり試したりしながら、紙や木材などを組み合わせる生まれる形や色の面白さを使って、美しい空間をつくる造形的な活動を思い付き、鏡の中の空間や奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを考えながら活動を工夫してつくる。
第6学年	そこから見ると…！	学校内の思い出のある場所の形や色、空間などの特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的な活動を思い付き、ある一点から見るとその場所と関わりのあるものの形にみえるよう構成したり、周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考え、工夫してつくる。

6 題材の指導計画と評価計画（全4時間）

時	目標	学習内容・学習活動	評価規準		評価方法等
			内容	記録	
第1時 (45分)	細長い画用紙の帯の形や紙の特性に注目し、紙の形を生かした表現方法を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を知る。 ・細長い白色画用紙の帯1本でできる表現を考える。 ・ステープラーを使い、止める技法を組み合わせるつくる。 ・ステープラーの基本操作を確認し、安全に使う方法を知る。 ・複数の細長い白色画用紙の帯を、つないだり組み合わせたりしてできる表現を考える。 	ア②	○	活動の様子の観察
第2・3時 (90分) 本時	色画用紙の帯を並べたり、組み合わせたり、つないだりした紙の形や色、活動する図画工作室の感じを基に、自分のイメージを広げながら、どのように活動するか考え、活動を工	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の題材名と学習内容を知る。 ・活動場所の確認や、材料、ステープラーの扱いについて確認する。 ・図画工作室の感じを基に、自分のイメージを広げ、ステープラーを使って色画用紙の帯を止めたりつないだり組み合わせたりしてできる形や色を工夫して、どのよ 	イ①		活動の様子の観察

	夫してつくる。	うに活動するか考える。 ・材料に触れながら思い付いた活動する。 ・思い付いたことや工夫したことを交流しながらさらに活動を広げる。 ・自分たちの本時の活動を振り返る。	ア① ア② イ② ウ①	○	活動の様子の観察 活動の様子の観察・発表
第4時 (45分)	鑑賞活動を通して、自分たちの活動の造形的なよさや面白さ、いろいろな造形的な活動などについて、感じ取ったり考えたりする。	・「マジックランド探検隊」と称した鑑賞会をする。 ・児童一人一人がタブレット端末を用い、自分の活動や気に入った場所を記録する。 ・タブレット端末上のワークシートで振り返りを行い、気付いたこと、工夫したことなどを全体で共有し、活動を振り返る。 ・片付け	イ② ウ①	○	活動の様子の観察 発表 ワークシート

7 指導に当たって

(1) 指導内容や方法、学習形態等について、工夫したこと

今回の題材では、細長く切った色画用紙の帯を使う。また、色画用紙を接合する場合はステープラーを用いる。第1時では普通教室を使用して活動するが、第2時となる本時では、活動場所を図画工作室へと移す。児童の意欲を引き出すため、材料配置を工夫し、活動する場所も児童が自由に選択できるようにし、色画用紙を吊るすことができるロープなども豊富に準備しておく。また、24色の細長い色画用紙を大量に用意しておくことで、児童の創作意欲を引き出したと考えた。さらに、図画工作室の机を教室の端に寄せ、図画工作室の中央を広くして使えるようにしておくことで、互いの表現が自然と目に入り、そして、自然と共同で活動したり、友人の様々な表現や工夫を自己の活動にも生かしたりしていけるような場の設定を考えた。

(2) 授業力の6要素の教材解釈、教材開発について

第1時の活動は材料の特徴や表現の可能性を探ることに注力するため、図画工作室ではなく普通教室で行う。また、第1時では材料の特徴や紙の特性に注目し、材料の形を生かした表現方法を考えることができるよう、導入時に白色の細長い画用紙1本だけを児童に手渡す。形や紙質の特徴を感じながら1本で可能な表現を考えていく。そして、1本で可能な表現が多様に出た段階で、ステープラーを使用することを伝える。児童がつくりながら発見した、折る、ねじる、丸める、編む、巻く、紙のばねにするといった画用紙のみで表現可能な方法に加え、ステープラーで止めるという技法を組み合わせることで造形していくことにより、できた形から何か面白い形がでないか、さらに考えて思いのままに活動していけるように指導する。

また、活動がスムーズに進められるように、接合に使う用具を一人1セット（ステープラー、替針、外した針を分けて入れることができるトレイ）、個人で管理できるようにした。本時の活動

記録で児童にタブレット端末を使わせてしまうと、つくる活動が疎かになってしまうことも考えられるため、活動記録は授業者がデジタルカメラで撮影する。

(3) 班テーマ「児童の主体性を引き出す教材開発・指導の工夫」

普段と少し違う図画工作室(机や椅子を脇に寄せ、フロアを広くした、ロープが張られている)で活動することや、材料置き場に色画用紙の帯を色相環の流れになるように並べて準備しておくことで、図画工作室に入った瞬間から児童の学習意欲を高め、主体性を引き出すことのできる場の設定をした。また、本時の図画工作室での活動場所を各自で選択させる。活動する中で、他の児童と協力したり対話したりしながらよりよい活動をしていくように促していく。さらに、本時において授業者は児童同士の対話が生まれるようにファシリテーター役となり、その都度、活動を取り上げて紹介することで児童が自分の表し方に自信をもてるようにし、児童の活動や発想が広がるように授業を展開させていく。

第4時では、「マジックランド探検隊」と称した鑑賞会をする。鑑賞会では児童一人一人がタブレット端末を用い、自分の活動や気に入った場所を記録し、全体共有する。ワークシートでも振り返りを行い、授業者が活動を価値付けることで、児童が自分の表し方に自信をもち、児童の学びが深まるようにする。

8 本時(全4時間中の第2・3時(90分))

(1) 本時の目標

色画用紙の帯を並べたり、組み合わせたり、つないだりした紙の形や色、活動する図画工作室の感じを基に、自分のイメージを広げながら、どのように活動するか考え、活動を工夫してつくる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 13分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返る。 ・題材について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がつくりながら発見した、折る、ねじる、丸める、編む、巻く、紙のばねにするといった白画用紙の帯1本で表現可能な方法について大型モニターに映し、全体で振り返る。 ・ステープラーを使うことで、形を固定したり、画用紙を簡単につないだりすることができたことを振り返る。 ・題材名を黒板に掲示する。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">カラフルバンドを、並べたり、組み合わせたり、つないだりしながら、図画工作室を大変身させよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを黒板に提示し、口頭でも確認する。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びの活動について知る。 ・安全に活動するために注意することを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は、色画用紙の帯を使い、図画工作室でどのようなことができるか考え、図画工作室を大変身させることを伝える。 ・造形遊びは、一度つくったものをつくりかえたり、場所と関わったりしながら工夫してつくる活動ということを見童に分かりやすく伝える。 ・活動の最中にイメージが変わる場合もあるので、活動場所が途中で変わってもよいことを伝える。 ・画用紙を切って長さや形を変化させることやステープラー以外での接着はできないことを伝える。 ・ステープラーの針の外し方と外した針の保管方法についての安全指導をする。 	
<p>展開 70 分</p>	<p>○色画用紙の帯をつかって、図画工作室でどのようなことができるか考えて、図画工作室を大変身させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図画工作室の中で場所を選ぶ。 ・カラフルバンドを、並べたり、組み合わせたり、つないだりする。(10分) <p>・カラフルバンドを、並べたり、組み合わせたり、つないだりしながら、活動を展開する。</p> <p><見童の活動や発言></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カラフルバンドを選び、よいと思う場所で活動するように伝える。 ・場所の特徴を伝えながら、やりたい活動によって場所を選ぶように伝える。 ・場所に働きかけることで、図画工作室がどのように変化したか、感じたことを発表させ、この後、どのように活動していきたいか見童の考えを引き出し、全体共有することで、活動への意欲を高める。 ・授業者は見童同士の対話が生まれるように、ファシリテーター役となり、見童の発言や発想が広がるようにその都度取り上げて紹介する。 	<p>ウ①(活動の様子の観察)</p>

	<p>□いつもの図画工作室と違うね。床にならべてみたい。</p> <p>□いろいろな色の紙がたくさんある。前より大きいものもつくれそう。</p> <p>□ロープに吊るしたら、鳥みたいなものも飛ばせそう。</p> <p>□一緒につくってみようよ。</p> <p>□図画工作室を私たちの場所に変えたいね。</p> <p>・更に活動を展開させたり、つくり変えたりして活動する。</p> <p><児童の活動や発言></p> <p>□もっとうちの方がよくなるかな。</p> <p>□〇〇さんの紙の組合せがきれいだね。私もやってみよう。</p> <p>□〇〇さんの輪をつなげていく方法はすごいな。一緒につくろう。</p> <p>□先生の話の聞いたら、〇〇さんが面白い活動をしていた。私もやってみたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場所と関わって活動している児童を全体に共有したり、価値付けたりすることで児童の活動が広がるようにする。 ・活動を展開させたり、つくり変えたりしている児童を称賛し、自信をもって活動させる。 ・児童のイメージが広がるように、形や色の組合せの面白さ、場所を生かしている児童の取り組みを紹介する。 	<p>ア②イ①(活動の様子を観察)</p> <p>ア①(活動の様子を観察)</p> <p>イ①イ②(活動の様子を観察)</p>
<p>まとめ 7分</p>	<p>○教室全体を見渡し、友人がどのような活動をしていたのかを知る。</p> <p>・次時について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを通して、本時の目標に対しての実現状況等を確認する。 ・次時は、「マジックランド探検隊」と称した鑑賞会をすることを伝え、活動の意欲を高める。 ・図画工作室を探検しながら、自分の見つけた形を伝えたり、友人の考えた工夫を見付けたりして、鑑賞することを伝える。 ・次時に片付けをすることを伝える。 	<p>イ②ウ①(活動の様子を観察・発言)</p>

(3) 板書計画

カラフルバンドでずこうしつ だいへんしん図工室が大変身！

めあて

カラフルバンドを、なら並べたり、くみあ組み合わせたり、つないだりしながら、ずがこうきくしつ だいへんしん図画工作室を大変身させよう！

造形遊び

- ・どこでどんな活動ができるか考えよう！
- ・つくったりつくりかえたりして、いろんなくふう工夫をしてみよう！

かつどう じかん活動の時間

10時03分まで

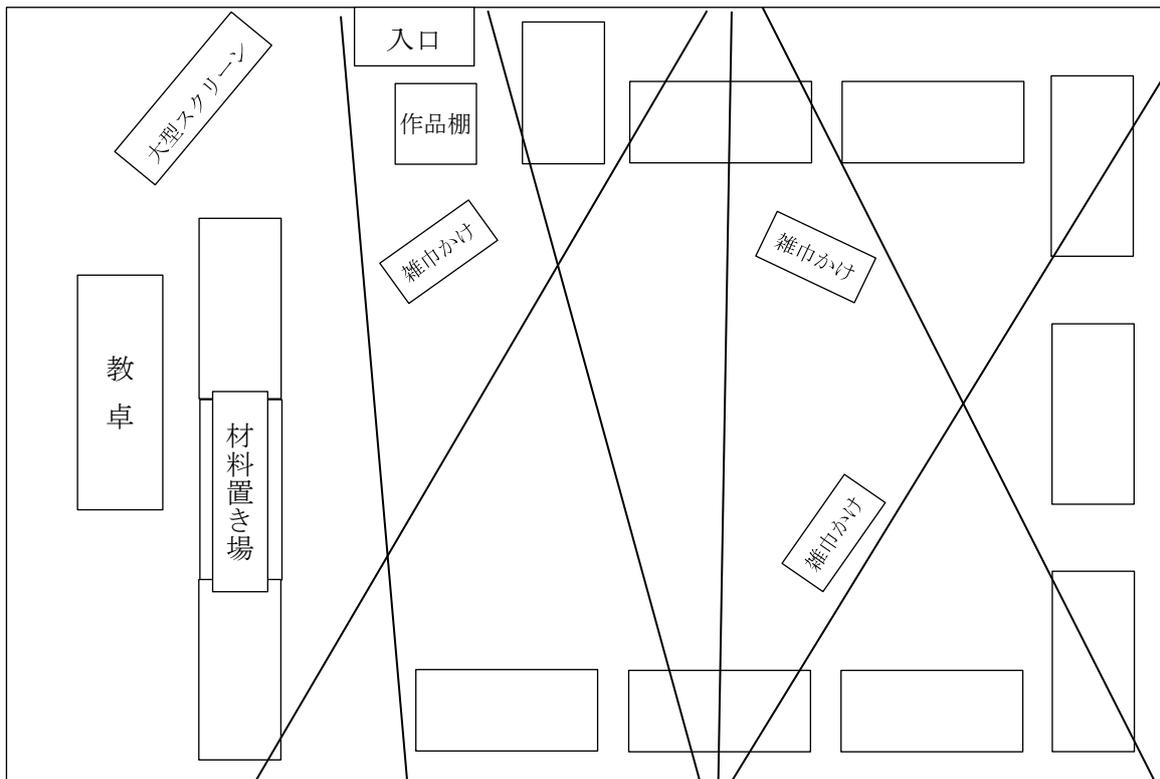
安全に活動するために

- ・高いところにつるしたい場合は、いすを使う。
- ※友だちにいすをおさえてもらおう！
- ・外したステープラーの針ははす道具箱どうぐばこに入れる。

(4) 学習環境

図画工作室

—— ロープ(6本)



(5) 授業観察の視点

- ア 材料や場の設定は第3学年の造形遊びの題材として適切であったか。
- イ 色相環に基づいた配列で、材料となる色画用紙の帯を配置しておいたことは、児童の創作意欲を引き出すのに有効であったか。
- ウ ステープラーの使用は、児童がつくりつくりかえる活動に取り組むのに適切であったか。
- エ 授業者がファシリテーター役となり、その都度、活動や表現を取り上げて紹介することは、児童の発想や活動を広げるのに有効だったか。